

受験勉強は、1年がかりで行い、第一志望校に合格を果そう！

－まずは、小5生、中2生、高2生は、学年末試験で全教科 100 点満点を目指し、
第一志望校合格を確かなものにしよう－

開倫塾

塾長 林明夫

Q：第一志望校合格のための受験勉強は、いつから始めればよいのですか。

A：(1)受験勉強で、一番大切なのは、「自分は、受験生である」という
「自覚」です。「受験生としての自覚」をもって勉強に励むのと、
「ただ何となく、入学試験があるようだから、仕方なく、勉強する」
のとでは、「雲泥の差」「行って帰るほどの差」があるからです。



(2)本題に戻ります。ではいつから受験勉強を始めたらいいか。

一番のおすすめは、「第一志望校」を決定したその日から、「自分
で決めた第一志望校」を受験する「受験生としての自覚」を持ち、
「自己責任」「自助努力」で、受験勉強をスタートすることです。



(3)①受験勉強をスタートするのは、早ければ早いほどよい。なぜか。

受験勉強は、学ばねばならないことが多いので、スタートが遅いと、入試までに、勉強
し終えないことがあるからです。

②できれば、今、この時期。「受験 1 年前からスタートすること」をおすすめします。

③中学入試(私立中、中高一貫公立校入試)なら、小学 5 年生から、高校入試なら中学 2
年生から、大学入試なら高校 2 年生から、1 年間かけて、「第一志望校合格」のための
「受験勉強」をスタートすることを、心からおすすめします。

Q：では、小5生、中2生、高2生は、この時期、どのようなことを受験勉強として行えばよいので
すか。具体的に教えてください。

A：(1)入試には、今通っている学校で学んでいる全範囲の内容が出題され
ます。また、今通っている学校の成績(内申点)も、多くの学校で参考
にされます。入試に出題される教科はもちろん、入試に出題されない
教科も、内申点で評価されます。



(2)ですから、今までに学んだ内容、今学んでいる内容を、しっかり理解し、全部、しっかり
身に着け、テスト、特に、これからなら「学年試験」「定期試験」でよい点数を取り、内申
点アップに結び付けることが大事です。受験に出題される教科は、今まで学んだ内容をもう
一度、全部、正確に理解し、しっかり身に着け(定着させ)、受験学年に勉強し直さなくても
よいレベルにまでしておくことです。

(3)特に、今まで学んだことの中で、「不得意分野」があれば、受験学年に入るまでに、徹底
的に克服しておくことです。

Q：そのためには、今、何を行えばよいのですか。

A：(1)①どこの学校でも、2 月の中・下旬に「学年末試験」があります。3 月初旬には「実力テスト」があります。「模擬試験」もあります。また、1 月から 3 月までに、英検、漢検、数学・算数検定等の検定試験があります。

②これらの試験を、最大活用。「今まで学んだ内容」を、スミからスミまで理解して、スミからスミまで身に着ける(定着させる)。

③「過去問練習」をしっかり行い、各試験で、100 点満点を目指すことをおすすめします。

(2)①まずは、2 月にある学年末試験で、全教科 100 点満点を目指す。

②12 月、1 月、2 月まで 3 か月かけ、全教科の 1 年間の総復習を行うこと。

③全教科の学校の教科書・学校問題集、教材、授業ノート、まとめノートを、もう一度、全部ていねいに読み、どのような内容かを、「うんなるほど、これはこういうことなのか」と、「腑に落ちるまで」学び直す、「理解する」ことです。

(3)①読み方や、よく意味の分からないことばがあったら、辞書や参考書で調べること。

②「計算や問題」は、もう一度、全部やり直す。なぜそのような答えになるかがわからなければ、よく調べる。

③それでもわからなければ、学校や開倫塾の先生に質問して、わからないことをなくす。

(4)①教科書や問題集が理解できたら、「教科書」を、スラスラよく読めるようになるまで「音読練習」「英語は発音練習」。「大切なところは、何も見ないでいえるまでにする(暗唱)」。

②教科書に出ている語句は、固有名詞を含め、正確に書けるようになるまで、「書き取り練習」。すべて、「何も見ないで書けるまでにする(暗写)」。

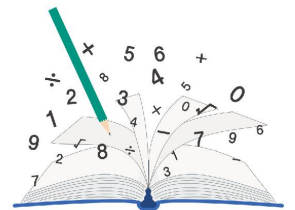
③「学校教科書」や「学校問題集」の「計算や問題」は、何回もやり直し、解く(5 ～ 6 回解くことをおすすめします)。そして、何も見ないでも、条件反射で、答えが出るまでにする。

(5)「教科書」「問題集」「授業ノート」「まとめノート」は、「スミからスミ」までやり直し、「スミからスミまで全部覚える」こと。そして、学年末試験で 100 点満点を取ること。「スミからスミまで全部覚える」ことが、「100 点満点を取る秘訣(ポイント)」です。

(6)①スミからスミまでよく理解し、スミからスミまで全部覚えれば、「学年末試験」で、「全教科 100 点満点」が取れます。受験学年に入り、現在の学年の勉強をしなくても済みます。受験勉強に専念できますから、第一志望校合格にグーンと近づきます。

②そのために欠かせないのが、「まずは、理解」。次に、「理解した内容」の、「音読練習(暗唱)」、「書き取り練習(暗写)」「計算・問題練習」です。

③そして最後に、「過去に出題された問題を、5 ～ 6 回、解く練習(過去問練習)」。



Q：なぜ、「学年末試験の勉強」が、「受験勉強」にとって、大切なのですか。

A：(1)中学入試には、小学 5 年生の内容がたくさん出題され、高校入試には中学 2 年生の内容がたくさん出題され、大学入試には高校 2 年生の内容がたくさん出題されるからです。

(2)①受験勉強だと考え、今の学年の勉強は、受験学年になってやり直さなくてもよいくらい、全部、「理解」し、「定着」させ、「学年末試験」で 100 点満点が取れるまでしておきましょう。

②特に、「弱点分野」の勉強は、学年末試験の勉強として、徹底的に行いましょう。受験勉強として、受験学年に入る前に、「今まで学んだ内容・分野の弱点分野をゼロ」にしていましょ。受験勉強には、「謙虚さ」が大切です。不得意分野を学ぶときに欠かせないのは、「自分の弱点」を認めて「学び直す」、「謙虚さ」、「素直な心」です。

③しかし、各教科の得意分野は、勇気をもって、入試問題にも挑戦、「入試に耐えられる得点力」を、身に着けてしまいましょ。優れたところは、ドンドン伸ばす。受験勉強に、遠慮は一切いりません。

(3)①このように、「受験生としての自覚」の「自覚」として大切なのは、「不得意分野を自覚して、徹底的に勉強し直す、謙虚さ、素直さ」です。

②同時に、「得意分野を自覚し、過去問に挑戦し、また、小学生は中学の、中学生は高校の、高校生は大学や大学院の、勉強にも挑戦する、チャレンジ精神」も大切です。



③「謙虚さ・素直さ」と「チャレンジ精神」で、受験勉強にお励みください。「受験勉強に遠慮は不要」です。

(4)学年末試験で、全教科、100 点満点を取れば、学校成績もぐんと上がり、入学試験の「内申点」も大幅アップしますので、入試では、とても役に立ちますよ。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)そして、学年末試験が終わったその日から、GW が終わる日までに、受験学年の「学校教科書」「学校問題集」の予習を、できるだけたくさん行いましょ。

(2)そうすれば、さらに、「第一志望校合格」の夢は、現実のものになります。

(3)このように、受験勉強は、「受験生としての自覚を持ち」、今日から、1 年かけて行うことをおすすめいたします。「自分の未来は、自分で切り開く」、「自己責任」、「自助努力」で行うのが受験勉強です。



では、がんばって！

2025 年 12 月 5 日記